

〔科目名〕				〔単位数〕		〔科目区分〕	
調査と統計				2 単位		必修	
〔担当者〕			〔オフィス・アワー〕			〔授業の方法〕	
安田公治			時間:授業中に指定 場所:1204			講義	
〔科目の概要〕							
<p>この授業ではまず統計学がなぜ重要であるのか、また実際の調査を行う際に統計学がどのように活用されるのかを理解してもらいます。基本的な統計学の知識を理解してもらい、さらに実際のアンケートをどの様に作成するか、そしてそこから得たデータからどのような発見があるかについても統計学の知識を使いながら学んでいきます。また統計ソフトの使用についても説明しますが、序盤ではなぜそのような処理が必要となるのかをしっかりと学んでもらい、エクセルを使っての統計処理の方法も基礎から説明し、自分自身でデータの入手や処理ができるようになってもらいます。</p>							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕							
<p>社会には様々な現象や出来事があり、それらがどうして起こっているか、またどうすれば社会が改善するかについて理論や実際のデータを用いて検証していく必要があります。なぜそのような現象や出来事が起こるかの理論も重要ですが、教科書や授業の内容が必ずしも現実の社会の出来事と一致するわけではありません。現実の社会を捉えていくには実際にデータを得たうえで、さらにその内容を誰もが客観的に判断できるようにすることも重要です。</p> <p>そのためには調査をしてデータを得るだけでなく、そこから得られた情報やデータを整理し、理論などに基づいた仮説に当てはまるかを統計学の知識を用いて検証していくことも重要です。この講義では特にアンケート調査の方法についても学び、それを統計的に検証していくことで、今後地域や国全体の問題について自分で仮説を立てて検証できるようになってもらうことを最終的な目標とします。</p>							
〔科目の到達目標〕							
<p>中間目標 平均・分散・標準偏差の意味について理解し、統計学的な知識に基づいて適切にデータや情報の整理・活用をすることが出来るようになる。</p> <p>最終目標 自分で社会現象などに対する仮説を立てられるようになる。調査などから得たデータを基にその仮説を検証できるようになる。</p>							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕							
学部				学科			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	
○		○	○		○		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕							
<p>学生のペースに合わせて授業を進行されると評価するコメントもあったが、一部には授業のペースについて行けないという意見も見られた。全員のペースに合わせることは難しいが、出来る限り学生の授業や課題の進行状況を見ながら進行するように努める。</p>							
〔教科書〕							
なし							
〔指定図書〕							
なし							

<p>【参考書】 Excel で今すぐはじめる心理統計 簡単ツール HAD で基本を身につける (KS 心理学専門書) 小宮 あすか (著), 布井 雅人 (著) ISBN978-4-06-154812-1</p>	
<p>【前提科目】 なし</p>	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 授業内で行う課題、提出物(20 点) 中間レポート 1 回(40 点)、期末レポート(40 点)。</p>	
<p>【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】 出席するだけでは一切評価せず、基本的に授業内の課題を自分の手を動かして進めて、統計の処理の方法を肌間隔で覚えてもらいたいと思います。統計学の知識は当然重要ですが、自分の手を動かして慣れてもらう事も重要です。また授業外でも積極的にデータなどを集めて自分なりに考える習慣を身に付けてもらいたいと思います。</p>	
<p>【実務経歴】 なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第 1 回	<p>テーマ(何を学ぶか): インTRODクシヨン 内 容: 授業の進行の説明。統計とは何か。 教科書・指定図書</p>
第 2 回	<p>テーマ(何を学ぶか): データの見方 内 容: データの構造。変数とは何か。変数の特性(量的変数、質的変数)。 教科書・指定図書</p>
第 3 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 度数分布表 内 容: ヒストグラムの作成、度数、相対度数 教科書・指定図書</p>
第 4 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 変数の分布と中心 内 容: 平均値、中央値、最頻値 教科書・指定図書</p>
第 5 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 変数のばらつき (1) 内 容: 範囲、分位数、分散 教科書・指定図書</p>
第 6 回	<p>テーマ(何を学ぶか): 変数のばらつき (2) 内 容: 標準偏差、標準化 教科書・指定図書</p>
第 7 回	<p>テーマ(何を学ぶか): アンケートと統計 (1) 内 容: アンケートの質問項目の作り方、インフォームドコンセント 教科書・指定図書</p>
第 8 回	<p>テーマ(何を学ぶか): アンケートと統計 (2) 内 容: アンケートの質問項目の作成、集計の方法 教科書・指定図書</p>

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):クロス集計</p> <p>内 容:クロス集計表、周辺度数、クロス集計表のグラフ化</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):相関関係</p> <p>内 容: 散布図、相関係数、共分散</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):原因と因果</p> <p>内 容: 因果関係が存在することの判断基準、見せかけの相関、媒介変数</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):母集団と標本</p> <p>内 容: 母集団と標本の違い、選択バイアス、正規分布</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):統計的推定</p> <p>内 容: 母平均、母分散、標準正規分布、t分布</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):統計的検定</p> <p>内 容: 帰無仮説、対立仮説、t検定</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):回帰分析</p> <p>内 容: 単回帰分析、被説明変数、説明変数</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	なし